

緑が丘の台地にて

甲斐市立双葉中学校
学校だより 第12号
平成28年12月21日
発行 長田 靖

新しい年の迎え方 身の回りと心の中を整理して…

まだ夏の厳しい暑さが居座っていた8月25日にスタートした2学期も、もうすぐ終わろうとしています。時間（月日）が経つのは本当に早いですね。

9月の誠樹祭に始まり、新人戦（1・2年生）、強歩大会、合唱祭、3年生は2回の教達検、生徒会役員選挙、学期末にはインフルエンザによる学級閉鎖…、今振り返るといろいろなことがあった2学期の81日でした。あなたにとっては、どんな2学期でしたか、そして、どんな平成28（2016）年でしたか。

さて、年の瀬です（今日は冬至）。私たちが生活を営んでいく時間の中で、とても大切な節目のひとつですね。何となくザワザワと過ごすのではなく、部屋や机の上を掃除し、身の回りをきれいに整理整頓したいものです。

中学生ともなれば、心の中に秘密の小さな引き出しができた人もいることでしょう。その引き出しには、一年間のいろいろな出来事や思いが乱雑に放り込まれていませんか？この際、それらを少し整頓することをおすすめします。

では、具体的にどうするかと言うと…。まず、部屋をきれいに掃除します。次に静かに目を閉じ、心を落ち着かせ、引き出しにしまい込んだままの出来事を思い出してみます。辛いことや悲しいことがあったら、それを我慢し乗り越えてきた自分、そのことで成長した自分をよく褒めてあげてほしいです。



また、自分の近くにいてくれる家族や友達はとても大切な存在なのに、ちょっとしたことでカッとなり、つい酷いことを言ってしまったり、あるいは謝りそびれたりしたことがあるはずですよ。その度に、あなたの心の引き出しは重くなってきていませんか。

迷惑をかけてしまったなあ…、悪いことをしたなあ…などと気になっていることがあるなら、勇気を持って直に話をするか、手紙できちんと謝りましょう。「ありがとう」が言えないままになっていることが見つかったら、年賀状に「ありがとう」と書き添えるのもいいですね。

ところで、この「謝る、謝罪する」と「感謝する」とはまったく反対のような言葉なのに、どちらにも同じ「謝」の文字が使われています。不思議ですね。

「謝」はごんべんに射ると書きますね。「射」は弓で矢を放つことですが、矢を放った後はピンと張り詰めていた弦（糸）がゆるみます。そのことから、「謝」は「話すことで心の負担を軽くし、すっきりする」という意味につながるのだそうです。

一年の終わりにあたり、静かに自分の心を見つめ、こうした人との大切なつながりを思い返し、感謝（場合によっては謝罪）の気持ちを持って心を整理してみてください。清々しい心で新しい年を迎えるために…。

そして健康で安全安心の、一生に一度の中学〇年生としての冬休みを過ごしてください。



冬も双中生は大活躍！

- | | | |
|--------------------|-------------------------|--|
| ◇県新人新体操 | 個人総合1位, フープ・ボール共に1位 | 篠原 涼さん |
| ◇ケリパング英語暗唱大会 | 銅賞 | 赤松さん |
| ◇県下少年柔道選手権大会 | 軽量級3位 | 竹川くん |
| ◇青少年育成冬の双葉地区民大会 | 防犯弁論発表：白須くん, 演奏発表：吹奏楽部 | |
| ◇県下一周駅伝 | 甲斐市A：伏見くん, B：有泉くん（共に1区） | |
| ◇JA共済交通安全ポスターコンクール | 金賞 | 服部さん |
| ◇県アンパルコンテスト | 管楽七重奏 | 銅賞 吹奏楽部 |
| ◇教育祭美術作品展 | 県特選 | 輿石くん, 田中くん, 三井さん |
| | 中巨摩特選 | 中沢さん, 有井さん, 輿石くん
小林さん, 猪股さん, 鈴木さん
篠原さん, 飯野さん, 赤松さん
岩下くん, 相山くん, 金丸くん |
| ◇新聞感想コンクール | 入選 | 鈴木くん |
| ◇中学生人権作文コンクール | 甲府地方法務局長賞（最高賞） | 堀内 さん |
| ◇全国書画展覧会（画の部） | 特選 | 花木 さん |

県特選作品は1/6～12
県立美術館で展示

…ここに取り上げたのは学校を代表して参加した一部です。明日の終業式で他も含めて紹介します。

お正月のいわれ…？



私事で恐縮ですが、縁あって留学生（スイス、16歳の男子）を預かって10か月になります。日本の文化や伝統に興味を持つ彼から、先日「なぜ、お正月と言いますか？」と質問されました。彼の疑問は、正月に**お**を付けて呼ぶ理由でした。言われてみれば、確かに…。

これをお読みのみなさんは、いかがですか？「お正月」と、当たり前には私たちは口にしていますが、あらためて問われると答えに窮してしまいます。

そこで、調べてみました（こういうときにインターネットは便利です）。

本来「正月」は1月の別称ですが、一般的には正月行事をする間ととらえ、1月1日～1月7日（地方によっては15日、または20日まで）の「松の内」や、一連の正月行事を終える1月15日（地方によっては20日）の「小正月」をさすことが多いです。

また、丁寧に“お”をつけて「お正月」というのも特別な気持ちの表れですし、1月を「睦月」と呼ぶのも、正月に一家揃って睦みあう様子を表したものです。多くの方がお正月を家族で過ごし、当たり前のようにおせちを食べたり、お年玉のやりとりをしたりしていますが、ひとつひとつの物事にも大切な意味が込められており、由来を知るとなるほどと思うはず。〈AllAbout〉より

今月の給食日よりでは、おせち料理をはじめとする年末年始の行事食について書かれています。大掃除、年越し蕎麦、除夜の鐘、門松、しめ縄…等々、正月行事や風習の由来も調べてみましょう。これは今の時期だからこそ、の楽しみかもしれません。

保護者・地域の皆さまへ

非常に悲しく残念なことですが、この夏本校は、かけがえのない命を失ういたましい事故を経験致しました。報道される大きな自然災害や、子どもが犠牲になる悲しい事件・事故が、決して他人ごとではなく、私たちの生活は危険と隣り合わせであることを実感し、再発防止に努めると共に、安全で安心の教育環境づくりに邁進したいと決意を新たに致しました。

今年1年、本校教育をご理解くださり、支えて下さいました皆さまのお力添えに、心より感謝申し上げます。

素直で真面目な本校の子どもたちは、日々の学習や生活、学校行事を通して大きく成長したと思います。また、生徒のために労をいとわず、懸命に頑張る職員の方々の存在は、校長として心強い限りです。

子どもたちに「確かな学力・たくましく生きる力」を付け、信頼される学校づくりに向けて、来年も力を合わせて取り組んで参ります。どうぞよろしくご協力致します。